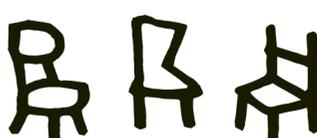


1人より3人

立正大学 × 隈研吾建築都市設計事務所 × 東川町
三者連携による地方創生の新たな視点



「1人より3人」と題した、 開校150周年の新たな試み

来年開校150周年を迎える立正大学は、隈研吾建築都市設計事務所、北海道東川町の三者による、連携協定を締結します。11月10日(水)に、協定調印式の他、記念フォーラム「1人より3人～三者連携による地方創生の新たな視点～」を開催し、建築家・隈研吾氏、松岡市郎東川町長、吉川洋立正大学長などを交えたパネルディスカッションを、立正大学にてリアルとオンラインのハイブリットで実施します。

三者連携協定

立正大学、隈研吾建築都市設計事務所、東川町は、2021年11月10日に「三者包括連携協力」に関する協定を締結します。本協定は、教育、研究、文化、産業、地方創生等の分野において相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与するとともに、新しい公共性のあり方を提案し、広く発信することを目的としています。

産学官三者連携で考える 地方創生フォーラム

新型コロナウイルス禍によるパンデミックは社会の変化を加速しています。この歴史的転換期に開校150年の節目を迎える立正大学は、著名な建築家の隈研吾氏、地方創生の先進地である北海道東川町と新しい挑戦をはじめるとともに、記念フォーラムを開催します。

東川町は、「写真の町」をコンセプトとしたまちづくりや、日本唯一の町立日本語専門学校創設による国際化推進などのユニークな取り組みにより、人口は平成の7000人台から、現在では8400人に増加しています。主要産業である木工家具においては、隈研吾氏と連携し、世界の学生を対象とした「KAGUデザインコンペ」を開催、800以上の応募があり話題となりました。立正大学は、学生が地方創生の現場で学ぶことに価値があると考え、東川町をリーダーシップキャンプのフィールドに選定。新設したデータサイエンス学部をはじめ総合的な大学の知的資源を活かし、三者連携により地方創生の新たな視点の獲得を狙います。来場者には、東川町の魅力を体感していただくため、北海道初地域ブランド米・東川米や大雪旭岳湧水も配布します。

<開催スケジュール>

11月10日 水曜日 | 17:00開場
17:30 - 20:00

<会場>

立正大学品川キャンパス
石橋湛山記念講堂

<定員>

会場先着 200名 (＋オンライン配信)
参加費無料

会場参加およびオンライン配信ともに、事前の申し込みが必要です。
QRコードまたは、以下のURLから申し込みください。
▷ <https://rpra.ris.ac.jp/news/article/event20211110/>



開 会

17:30 - 18:00

立正大学 × 隈研吾建築都市設計事務所 × 東川町

三者包括連携協力に関する協定調印式

基調講演

18:05 - 18:35

「コロナ後の社会と建築」
隈 研 吾

隈研吾建築都市設計事務所主宰
東京大学特別教授・名誉教授

パネルディスカッション

18:40 - 20:00

「1人より3人」
～三者連携による地方創生の新たな視点～

パネリスト： 隈 研 吾 (隈研吾建築都市設計事務所主宰)
松岡市郎 (東川町長)
立正大学学生 (リーダー養成プログラム参加学生)

進 行： 吉川 洋 (立正大学学長)
司 会： 中川梨花 (タレント・東川町オフィシャルレポーター)

<登壇者プロフィール>



立正大学学長

吉川 洋
Hiroshi Yoshikawa

経済学者。1951年生まれ。1974年3月 東京大学経済学部卒業、1978年米エール大学経済学博士、1993年東京大学教授、2016年立正大学教授、2019年4月より同大学長。財務省財政制度等審議会会長(2010年～2017年3月)、内閣府景気動向指数研究会(旧経済企画庁景気基準日付検討委員会)座長(1995年～)などを歴任。1984年第27回経・経済図書文化賞受賞、1984年第6回サントリー学芸賞受賞。2010年、紫綬褒章受章。近著に『マクロ経済学(第4版)』(岩波書店、2017)、『人口と日本経済』(中公新書、2016)等。

▼立正大学ホームページ
<https://www.ris.ac.jp/>
▼立正大学150周年記念サイト
<https://www.ris.ac.jp/150th/>



建築家 / 東京大学特別教授・名誉教授

隈 研 吾
Kengo Kuma

1954年生まれ。東京大学大学院建築学専攻修了。1990年隈研吾建築都市設計事務所設立。東京大学教授を経て、現在、東京大学特別教授・名誉教授。これまで20か国を超す国々で建築を設計し、(日本建築学会賞、フィンランドより国際木の建築賞、イタリアより国際石の建築賞、他)、国内外で様々な賞を受けている。その土地の環境、文化に溶け込む建築を目指し、ヒューマンスケールのやさしく、やわらかなデザインを提案している。また、コンクリートや鉄に代わる新しい素材の探求を通じて、工業化社会の後の建築のあり方を追求している。Photo (c) J.C. Carbonne

▼隈研吾建築都市設計事務所
<https://kkaa.co.jp/>



東川町長

松岡市郎
Ichiro Matsuoka

1951年生まれ。1972年 東川町奉職。2003年より現職。雄大な大雪山系より流れる清流「志別川」の美しい水、澄んだ空気、肥沃な大地と美しい景観、恵まれた資源を最大限に活用し、新たな付加価値を創出しながら、写真文化首都「写真の町」東川町の地名度を生かしたプライムタウン(最高のまち)づくりに取り組んでいる。また、職員の知力と実行力を求める「前例踏襲型」から「個性創造型」行政への転換を図り、住民福祉の向上に努めている。

▼東川町ホームページ
<https://town.higashikawa.hokkaido.jp/>

<司会>



タレント
東川町オフィシャルレポーター

中川 梨花
Rika Nakagawa

1998年4月21日北海道札幌市生まれ。慶應義塾大学総合政策学部卒業。12歳～大学入学までは札幌を拠点にタレント活動を行う(情報番組、映画、舞台、CMなど)。2017年9月に慶應義塾大学総合政策学部入学。地域活性化とソーシャルマーケティングを研究し、2019年10月より「東川スタイル研究員」として活動。2021年10月より「東川町オフィシャルレポーター」。サンミュージックプロダクションに所属しタレントとしても活動。

▼サンミュージックプロダクション
https://www.sunmusic-gp.co.jp/talent/nakagawa_rika/